

令和2年度10月定例麻績村教育委員会 会議概要

開催日時 令和2年9月30日(水) 午前9時00分～

開催場所 麻績村地域交流センター 第3・4研修室

出席委員	職務代理	市ノ瀬淳一	委員	小山正文
	委員	宮下温子	委員	宮川裕満
出席職員	麻績保育園長	臼井孝夫	麻績小学校長	佐々木英明
	筑北中学校長	中原 敏	教育長	飯森 力
	教育次長	塚原優仁	主 事	佐藤克哉

1 開会

2 教育長挨拶

3 報告事項

①教育長報告

- ・近況報告

質疑内容

特になし

②保育園長報告

- ・近況報告

質疑内容

小山委員:保育園の園児が増えているということですが教室のキャパは大丈夫なのでしょうか。

臼井園長:大丈夫か大丈夫じゃないかと言われると何とも言えないところがあります。けれども現状の中で使える施設を有効に活用して、例えばひよこ組0、1、2歳児のクラスは作った当時少なめに設定していますので、そこに職員3人が入ると少し手狭になります。ですので遊ぶスペースとかは向かい側にあります延長保育の部屋を開放して部屋をまたいでの活動としています。

小山委員:来年も数が増えるということでしょうか。

臼井園長:今のところ30名程の対象者がいますけれども4月に入所を希望するという方がどのくらいいるのか把握できません。今年もありますように子どもが1歳になったら出したい、仕事が決まったら出したいということで徐々に増えていくという

のがこの頃の傾向ですので何とも把握しにくいところです。

小山委員: 今年には保育士とか保育士補助者の人員についても予算のこともあるかと思いますが苦労しますね。

臼井園長: 一番は予算との兼ね合いもあります。そんな中で必要な保育士の確保については知り合いとか経験者等を中心に声を掛けさせていただいて来ていただける方をお願いをしています。一番は子どもたちに保育が出来るかどうかという所を中心に、保育園ということでベビーシッターとは違いますのでそこら辺のところを踏まえながら先生方には取り組んでいただくという形で、新しい方にもお話をして今のところお願いしているような状況です。少し厳しいなという所もあります。

小山委員: 村が子どもを増やすということでやってきた成果というか嬉しい反面大変な状況もありますね。

③小学校長報告

・近況報告

質疑内容

市ノ瀬職務代理: コロナの状況で各校とも普段のような行事が実践できない中で、大変工夫されて対策を取って実施したり、これから実施する予定だったり大変ありがたいことだと思っています。そんな中でネット等では先生方の疲労度が増しているという声も上がっていますが実際のところどうでしょうか。

佐々木校長: 全体ではそういう風に言われていますが、本校の状態だと遠隔のリモート授業もほとんどやらずに通常の授業で回せてきているのと、会議の精選等をしたり消毒の時間も今回ボランティアを募集したところ9月は9人くらいでしたが、10月は15人くらい来ていただいて放課後職員がやってきたことを大分取り下げることが出来たので職員としての負担感は大分解消できてきたのかなと思います。

中原校長: 中学校では文化祭がありましたのでコロナに関係なく頑張ろうという所があります。さらにテストがありますので大きいところだと3学年ありますので一つの教科で先生が複数人いて分担してテストを作ることが出来る訳ですが、どうしても本校のような単級の学校だと1人が3学年分のテストを作るということになるので、文化祭の準備はもちろん生徒もやっていくものですが、その指導とテストの作成等ちょうど重なったところもありますので、疲労が無いということは無いですし、この時期でなくても先生たちに疲れていませんかと聞いて疲れていないということは無いと思います。学校としてはここで一段落ついたのかなと思います。ここまでは3年生が忙しくなっていたんですが、今度は2年生が忙しくなってくるので皆順番に忙しい感じです。コロナに関わって忙しくなっていると言われると、そこはそれほど大きくないのかなと思います。

市ノ瀬職務代理: 表面的に疲労度というのは分かりにくいものがありますので十分に留意していただければと思います。また細かいことですが遠足等では下見をしっかりとっていた

だくのと今年はまだ聞きませんが毎年ハチに刺されたというニュースを見ますのでその辺もしっかり下見をしていただければと思います。

塚原次長:その他によろしいでしょうか。

宮川委員:次に小学校の修学旅行について下見をしてみてこの行程で厳しくはなかったですか。

佐々木校長:下見はこれからです。木曾の入口と出口の両方行くので何ともと思いますが高速使っていくので意外といけるようです。

宮川委員:行路はよく考えられていていい行路だと思います。ただ滞在時間が1時間で移動時間があると思いますのでどうなのかなと思いました。

佐々木校長:業者の方をお願いしている部分もあってプランをゆっくり時間をかけて作っていくのであれば、私はもともと伊那駒ヶ根方面なのでこのプランはもったいないなと思いますが業者の方で施設の予約等手続きの関係で出来る範囲ということになります。

塚原次長:その他によろしいでしょうか。

宮下委員:9月は運動会や文化祭もありましたが、子ども達の成長を実際に目で見て感じられる行事を開催していただけたので大変うれしく思いました。色んな制限があった中だったんですが、本当に運動会とかは親は皆で感動しまして本当にいい感想ばかりを耳にした運動会だったと思いますのでやっていただけてありがたかったです。中学校の方も新聞の記事で見させていただきましても村のマスコットキャラクターなんかも出てきたりしてすごい話題性があったなど、村外の方からも声を掛けていただいたりしましたのですごく良かったと思います。ありがとうございました。

④中学校長報告

・近況報告

質疑内容

宮川委員:中学では県内の修学旅行を検討したんでしょうか。

中原校長:現在は検討していません。感染状況という判断と泊りということで寝食を共にする生活スタイルの両方の検討をする中で、今年は1、2年生の1泊については無しにしていますので3年生についても現在のところ地域の感染状況は良い方向に進んでいると思いますが、泊りでの活動については学校としては出来ないなという判断です。

宮川委員:それで中止ということですか。

中原校長:中学については進路指導があるのでタイムリミットは10月かなということで文化祭が終わったらどうしても進路の方に専念させないと、そっちの方に響いてもということもありますし保護者の願いもそっちの方にあると思いますので、ここ

までの判断で一旦区切りをつけようかなということでは何か良いことがあれば考えたいという気持ちはありますが子ども達に期待を持たせてまた中止というのはいけないので学校としては中止ということでそれ以上の説明はしていません。

宮川委員:それから中学校の保健室からについてはただ単に心身の不調ということですか。

中原校長:これについては個人情報になりますのでお話しできませんが、内容としては心身の不調ということです。

4 協議事項

①麻績村の教育方針に関する研究検討委員会「部会」の開催について

⇒保育園学校部会と子育て支援部会は年内に会議を開催する予定とする。内容としてはこれまでの活動の評価と課題の洗い直しとし、日程が決まり次第開催していく。社会教育部会については本年度ほとんどの事業が開催できず評価等が困難なため開催時期については今後検討。

②総合教育会議について

⇒昨年度教育大綱を見直している。委員それぞれで確認をして見直した方が良く、付け加えたほうが良く等意見を教育委員会としてまとめて会議へ挙げていく。会議は11月中に開催を予定している。

5 その他

①各委員から

- ・特になし

②事務局から

- ・令和2年度学力向上にかかわる市町村教育委員との懇談会について

(10月21日(水)14時30分予定)

- ・麻績村文化祭 10/31、11/1 展示発表のみ。ステージ発表、各大会中止

- ・小中学校工事関係について

- ・村民からの要望について

⇒議事録について昨年度から内容が簡略化されているが麻績村教育委員会会議規則に則って作成しているため委員それぞれで確認をしてもらい意見があれば事務局へ。

⇒保小中保護者との懇談会についてコロナウイルス対策等の理由により開催時期は決定できないが、開催することは決まっているので状況を見ながら日時を決定し内容を検討していく。

次回開催日程 11月2日（月）午前9時30分～

6 閉会